

整理番号 00360

作成：平成 13 年 6 月 1 日

改訂：令和 6 年 4 月 5 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Copper Oxide (Rare Earth Base)

カッパー オキサイド（レアアースベース）

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800

FAX 番号

(03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

推奨用途

分析試験用

使用上の制限

推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性：急性毒性 吸引(粉塵/ミスト) 区分 4

皮膚感作性 区分 1A

特定標的臓器毒性（単回暴露）区分 1 全身毒性

特定標的臓器毒性（単回暴露）区分 3 気道刺激性

環境に対する有害性：水生環境有害性 短期(急性) 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性) 区分 1

ラベル要素

絵表示



注意喚起語：警告

危険有害性情報：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。吸引すると有害。呼吸器へ刺激のおそれ。全身毒性の障害。水生生物に非常に有毒。長期的影響により水生生物に強い毒性。

注意書き：【安全対策】

粉塵/煙/ガス/ダスト/ミスト/蒸気/スプレーの吸引をしないこと。

この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合多量の水と石鹼で洗うこと。

暴露または暴露の懸念がある場合医師に相談すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚刺激または発しんが生じた場合医師の診察/手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合 混合物

物の区別

化学名	酸化第二銅	含水ケイ酸アルミニウム (カオリン)	酸化第一銅	セルロース
成分及び含有量(wt%)	80 - 90	5-10	1-3	<0.3
官報公示整理番号				
化審法	(1)-297		(1)-297	
安衛法	通知対象物質 379	非通知対象物質	通知対象物質 379	非通知対象物質
PRTR法	対象外	対象外	対象外	対象外
CAS No.	1317-38-0	1332-58-7	1317-39-1	9004-34-6
国連分類及び国連番号	3077	該当しない	該当しない	該当しない

4.応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移す。症状がひどくなる/長引く場合には医師に連絡する。
皮膚に付いた場合	大量の水と石鹼で洗い流す。皮膚刺激が起こる場合、医師の診断を受ける。汚染された衣類は使用前に洗濯すること。
目に入った場合	直ちに大量の水で15分間以上十分洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外す。刺激がひどくなる/続き場合には医療アドバイスを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。医師からの指示なく吐かせないこと。気分が悪い時は医療アドバイスを受ける。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状	入手不可

5.火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	火災により有害なガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。換気をよくする。ダストを吸入しない。清掃中は適切な保護衣を着用すること。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	ダストを空気中に放出しない（圧縮空気でダストを吹き飛ばしたりしない）。掃き集める、または掃除機で吸い取り廃棄に適した容器に集める。
環境に対する注意事項	環境へ放出されることを防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストを吸入しない。飲み込まない。眼、皮膚、衣類への接触を防ぐ。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いを行う。産業衛生に気を配る。環境へ放出しない。
安全な保管条件	製品の入っていた容器のまま密閉して換気の良い場所に保管する。混触危険物との接触を防ぐ（第10項を参照）。

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形状
セルロース (CAS9004-34-6)	PEL	5 mg/m ³	吸入性粒子
		15 mg/m ³	トータルダスト
カオリン (CAS1332-58-7)	PEL	5 mg/m ³	吸入性粒子
		15 mg/m ³	トータルダスト

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値	
セルロース (CAS9004-34-6)	TWA	10 mg/m ³	
酸化銅 (CAS1317-38-0)	TWA	1 mg/m ³	ダスト、ミスト
		0.2 mg/m ³	ヒューム
酸化第二銅 (CAS1317-39-1)	TWA	1 mg/m ³	ダスト、ミスト
		0.2 mg/m ³	ヒューム
カオリン (CAS1332-58-7)	TWA	2 mg/m ³	吸入性粒子

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値	
セルロース (CAS9004-34-6)	TWA	5 mg/m ³	吸入性
		10 mg/m ³	トータル
酸化銅 (CAS1317-38-0)	TWA	0.1 mg/m ³	ヒューム
酸化第二銅 (CAS1317-39-1)	TWA	1 mg/m ³	ダスト、ミスト
		5 mg/m ³	吸入性
カオリン (CAS1332-58-7)	TWA	10 mg/m ³	トータル

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

取り扱いや熱加工により発生したダストやヒュームを効率的に取り除き蓄積を防ぐため十分な換気を行う。

保護具

眼/顔の保護 サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手 適切な耐薬品グローブを着用する。

その他 適切な耐薬品保護衣を着用する。

呼吸器の保護 換気が十分でない場合、適切な呼吸器を使用する。

熱的危険 必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項 飲食物から遠ざける。取扱後、飲食、喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9.物理/化学的性質

物理状態

	形状	固体・粒状
	色	灰色～濃灰色
臭い		入手不可
融点・凝固点		入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲		入手不可
可燃性		入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界		入手不可
引火点		入手不可
自然発火点		入手不可
分解温度		入手不可
pH		入手不可
動粘性率		入手不可
溶解度		入手不可
n オクタノール/水分配係数		入手不可
蒸気圧		入手不可
密度及び／又は相対密度		入手不可
相対ガス密度		入手不可
粒子特性		入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	通常の条件下での使用で有害な反応は知られていない
避けるべき条件	入手不可
混触危険物質	入手不可
有害な分解生成物	銅ヒューム

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストが気道に刺激を起こすおそれ。吸入により臓器に損傷を与える可能性。
皮膚	皮膚刺激

成分	種	結果
眼	眼刺激	
飲み込んだ場合	飲み込むと有害	
物理的、化学的、有害性特性に 関連した症状	入手不可	
毒物学的影響		
急性毒性	吸引すると有害	
酸化銅（レアアースペース）		
急性		
吸引		
ダスト		3.944 mg/L
ATE mix		
経口		
ATE mix		557.8 mg/kg
酸化銅（CAS 1317-39-1）		
経口		
カオリン（CAS1332-58-7）		
急性		
経皮	ラット	>5000 mg/kg
LD50		
経口		
LD50	ラット	>5000 mg/kg
*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。		
皮膚腐食性/刺激性	入手不可	
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可	
呼吸器または皮膚感作性		
呼吸器感作性	入手不可	
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	
生殖細胞変異原性	入手不可	
発がん性	IARC,ACGIH,NTP,OSHA によって発がん性があるとは考えられていない	
IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity	記載なし	
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし	
US. National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens	記載なし	
生殖毒性	入手不可	
特定標的臓器毒性（単回暴露）	呼吸器へ刺激のおそれ、全身の障害	
特定標的臓器毒性（反復暴露）	入手不可	
誤えん有害性	入手不可	

12.環境影響情報

生態毒性 製品	長期的影響により水生生物に非常に有害		結果
	種		
酸化銅 (CAS 1317-38-0)			
水生			
Crustacea	EC50	Water Flea (Daphnia magna)	0.011-0.039 mg/l, 48 時間
Fish	LC50	Western mosquitofish (Gambusia affinis)	>56000 mg/l, 96 時間
*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。			
残留性/分解性	知られていない。		
生態蓄積性	データなし		
土壌中の移動性	データなし		
オゾン層への有害性	入手不可		
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。		

13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14.輸送上の注意

DOT (米国運輸省)	
UN ナンバー	UN3077
UN 正式輸送名称	環境的に危険な物質、固体、n.o.s (酸化銅)、 海洋汚染物質
輸送危険クラス	
クラス	9
付随するリスク	-
ラベル	9
包装グループ	III
取扱者への注意事項	安全取扱い説明書、SDS 及び緊急時の手順書を製品の 取扱い前に読むこと。

IATA（国際航空運輸協会）

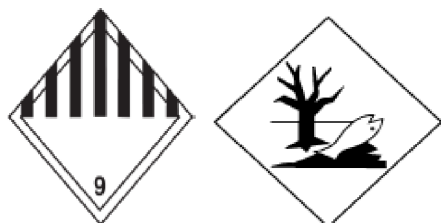
UN ナンバー	UN3077
UN 正式輸送名称	環境的に危険な物質、固体、n.o.s（酸化銅）
輸送危険クラス	
クラス	9
付随するリスク	-
包装グループ	III
ERG コード	9L
取扱者への注意事項	安全取扱い説明書、SDS 及び緊急時の手順書を製品の取扱い前に読むこと。

IMDG（国際海上危険物規定）

UN ナンバー	UN3077
UN 正式輸送名称	環境的に危険な物質、固体、n.o.s（酸化銅）、 海洋汚染物質
輸送危険クラス	
クラス	9
付随するリスク	-
包装グループ	III
取扱者への注意事項	安全取扱い説明書、SDS 及び緊急時の手順書を製品の取扱い前に読むこと。

DOT ; IATA ; IMDG

海洋汚染物質



15.適用法令

〔酸化第二銅、酸化第一銅〕

労働安全衛生法：施行令第 18 条の 2 別表第 9（名称等を表示、又は通知すべき危険物及び有害物 379

規則第 594 条の 2 皮膚等障害化学物質等

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(110819) : LECO Corporation

JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、

銅酸化物 P/N: 501-170

作業場内の表示および安全データシート

化学便覧 : 丸善

職場のあんぜんサイト : 厚生労働省

NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

GHS 混合物分類判定システム(NITE Gmiccs) : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成 13 年 6 月 1 日

改訂：平成 13 年 9 月 1 日(法令見直し、書式改訂)

平成 22 年 4 月 27 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 28 年 7 月 4 日 (書式、法令見直し)

令和元年 12 月 6 日 (英文 SDS 見直し、法令見直し)

令和 4 年 2 月 10 日 (法令見直し、2019 年版 JIS 対応)

令和 6 年 4 月 5 日 (法令見直し)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。